

経営体育成支援事業目標達成状況報告書(5年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
長野県	安曇野市	有明	平成28年度 (28年度当初)	平成30年度	安曇野市

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標達成状況(上段:計画、下段:実績)					5年度目 達成状況 (%)
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	4年度目	5年度目	
必須 目標	① 経営面積の拡大	0	1	1		3年度目で達 成済
		0	1	1		
	② 農業の6次産業化					
	③ 農産物の高付加価値化					
選 択 目 標	④ 経営コストの縮減	0	1	1	1	0
		0	0	0	0	
	⑤ 耕作放棄地の解消					
	⑥ 農業経営の複合化					
	⑦ 農業経営の法人化					
	⑧ 雇用					

目標達成状況の上段は目標を設定している経営体の数、下段は目標を達成した経営体の数。(目標の達成以降は数値入力なし)

II 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

「経営コストの縮減」の目標が未達成となった大きな要因は、米穀加工部門の大型機械等の更新や修繕に係る経費の増大である。ただし、機械や設備の導入や修理・更新からの経過年数や消耗の状況から見て、大型の設備投資は令和2年度までに一旦終了したと捉えており、令和3年度には目標値を達成できると考えている。(令和2年度損益計算書上でも、大型機械への投資の経費を除くと目標をクリアする値とはなっている。)令和2年度までに導入したり更新したりした農業設備や農業機械について、適切に維持・管理していけるように、使用・管理方法や講習会等の情報提供を行ってきたい。修繕費や租税公課等の設備投資の経費以外で、前年度より増加した経費は、労務費・施設利用料・権利費及び水利費である。これらについては、規模拡大に伴う必要経費と捉えられるものと、縮減が可能なものがあるので、分析を丁寧に行い計画的にコスト減を図っていくよう指導に努めたい。

担い手確保・経営強化支援事業目標達成状況報告書(5年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
長野県	安曇野市	小倉	平成28年度 (28年度補正)	平成30年度	安曇野市

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標達成状況(上段:計画、下段:実績)					5年度目 達成状況 (%)
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	4年度目	5年度目	
必須 目標	① 売上高の拡大	0	1	1	1	100.0
		0	0	0	0	
選択 目標	② 経営コストの縮減					
	③ 経営面積の拡大					
	④ 農業の6次産業化	0	1	1	1	0.0
		0	0	0	0	
	⑤ 農産物の高付加価値化					
	⑥ 経営の効率化					
	⑦ 耕作放棄地の解消					
	⑧ 農業経営の複合化					
	⑨ 農業経営の法人化					
	⑩ 雇用					

目標達成状況の上段は目標を設定している経営体の数、下段は目標を達成した経営体の数。(目標の達成以降は数値入力なし)

II 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

<p>「売上高の拡大」の目標は達成となった。</p> <p>「6次産業化」の目標が未達成となった要因は、インターネット販売の成績は伸びたが、農場等での個別販売の個数が大幅に減少したことにある。これは、コロナ禍により観光需要やイベント機会がなくなったことが原因と分析している。観光の回復等の社会情勢の動向は読み切ることが難しいので、好調なインターネット販売を更に伸ばして行けるよう指導し必要な支援を行っていきたい。同時に地元の需要も取り込むこと、遠隔地の出荷先を開拓することも試みるよう促し、支援して行きたい。</p> <p>導入前に確認していた機械の性能が、環境や品目等の個別事情により発揮できていないという事態が起きている。これは目標未達成の理由ではないが、経営の改善や安定のために、現実的に加工に投入できる労働力を勘案した上で、現在確認できている実質的な機械の性能でも製造可能な過去品の量を算定し直すよう指導したい。それに基づき販売計画も立て直す必要がある。</p>

担い手確保・経営強化支援事業目標達成状況報告書(4年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
長野県	安曇野市	烏川	平成29年度(補正)	平成31年度	安曇野市

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標達成状況(上段:計画、下段:実績)				4年度目 達成状況 (%)
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	4年度目	
必須 目標	① 付加価値額の拡大				
	② 売上高の拡大	1 0	1 0	1 0	1 0
	③ 経営コストの縮減				
選択 目標	④ 経営面積の拡大	0 0	0 0	1 1	3年度目で達成済
	⑤ 農業の6次産業化				
	⑥ 農産物の高付加価値化				
	⑦ 経営の効率化				
	⑧ 耕作放棄地の解消				
	⑨ 農業経営の複合化				
	⑩ 農業経営の法人化				
	⑪ 雇用				

目標達成状況の上段は目標を設定している経営体の数、下段は目標を達成した経営体の数。(目標の達成以降は数値入力なし)

II 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

「売上高の拡大」について目標が未達成となった要因は、対象作物の市場価格の下落、及び厳冬により作物が小ぶり傾向にあり収量が伸びなかった上に販売を見込んでいたイベントが中止となったことが挙げられる。また、従業員の交代により対象作物部門以外の作物の収量の減少や売上の減収も一要因であった。作物単価は当初から比べると1/3ほどに落ちており、これは他の産地での況不況が当地産の単価の高下に影響した結果である。価格の流動性は目標の達成を困難にする大きい課題であり、また農産物の生産量が気象条件に左右されることも経営リスクである。そこで対象経営体は、不安定な市場価格への対応方策として、メーカーとの作物の直接取引の拡大を企図し、令和2年度に該当作物の作付面積を前年度より増やし、また気象条件への対応として、多品目の栽培を促進し令和2年度に新規作物を栽培した。これらにより売上高の拡大につなげたが、メインとなる作物の単価が当初の水準までに戻っていないことから、目標達成が困難となっている。今後も、売上高の拡大につながる各品目の生産振興施策の活用を積極的に促していきたい。

経営体育成支援事業目標達成状況報告書(3年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
長野県	安曇野市	有明	平成30年度	平成32年度	安曇野市

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項 目		目標達成状況(上段:計画、下段:実績)			3年度目 達成状況 (%)
		1年度目 (30年度)	2年度目 (31年度)	3年度目 (目標年度:32年度)	
目 必 標 須	① 付加価値額の拡大	1	1	1	0.0
		0	0	0	
事 業 関 連 取 組 目 標	② 経営面積の拡大	1	1	1	100.0
		1	1	1	
	③ 農産物の価値向上				
	④ 単位面積当たり収量の増加				
	⑤ 経営コストの縮減				
	⑥ 農業経営の複合化				
	⑦ 農業経営の法人化		0	0	1
		0	0	0	

目標達成状況の上段は目標を設定している経営体の数、下段は目標を達成した経営体の数。(目標の達成以降は数値入力なし)

II 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

「付加価値額の拡大」の目標が未達成となった要因は、コロナ禍の影響を受け、対象作物の市場、販売先の仕入れ、卸量が縮小し、計画より売り上げが伸びず、また雇人費も伸びなかったことが挙げられる。「法人化」の目標が未達成になった要因は、コロナ禍での社会環境、経営状態、雇用状況等に鑑み、経営の安定的な継続のために法人化の時期を先送りしたことにある。有機栽培による高価格の対象作物やその加工品を独自の販路も使って販売するという手法が、このたびの状況下では経営拡大にマイナスに響いた。

対象経営体は、有機栽培により安全な農作物を消費者に届けるという理念は維持しつつ、売上と雇用の拡大を図り経営の安定を実現させることで、両方の目標を早期に達成させる計画を立てている。そのために規模の拡大と設備投資を企図しているので、有用な情報の提供や調整等の面で支援を行っていききたい。同時に、支出を上回る収入が得られるように、手堅く精密に経営計画を立て、また情勢の変化に対応して必要であれば計画を見直すよう指導して行きたい。

経営体育成支援事業目標達成状況報告書(3年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
長野県	安曇野市	西穂高	平成30年度	令和2年度	安曇野市

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項 目		目標達成状況(上段:計画、下段:実績)			3年度目 達成状況 (%)
		1年度目 (30年度)	2年度目 (31年度)	3年度目 (目標年度:32年度)	
目 必 標 須	① 付加価値額の拡大	1	1	1	100.0
		0	0	1	
事 業 関 連 取 組 目 標	② 経営面積の拡大	1	1	1	100.0
		0	1	1	
	③ 農産物の価値向上				
	④ 単位面積当たり収量の増加				
	⑤ 経営コストの縮減				
	⑥ 農業経営の複合化				
	⑦ 農業経営の法人化				

目標達成状況の上段は目標を設定している経営体の数、下段は目標を達成した経営体の数。(目標の達成以降は数値入力なし)

II 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

目標を計画通りに達成することができた。

担い手確保・経営強化支援事業目標達成状況報告書(3年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
長野県	安曇野市	烏川	平成30年度	平成32年度	安曇野市

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標達成状況(上段:計画、下段:実績)			3年度目 達成状況 (%)	
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)		
目 必 標 須	付加価値額の拡大	1	1	1	100.0
		0	1	1	
選 択 目 標	① 経営面積の拡大	1	1	1	0.0
		1	1	0	
	② 農産物の価値向上				
③ 農業経営の複合化					
④ 農業経営の法人化					

目標達成状況の上段は目標を設定している経営体の数、下段は目標を達成した経営体の数。(目標の達成以降は数値入力なし)

II 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

「経営面積の拡大」の目標が未達成となった理由は、令和2年度中に予定していた利用権設定の借受始期が、農地所有者の意向により令和3年4月1日から延期されたため。4月1日からの経営面積目標値を超えていることを確認している。

担い手確保・経営強化支援事業目標達成状況報告書(1年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
長野県	安曇野市	小倉、温	令和2年度	令和4年度	安曇野市

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目達成状況(%)	
	1年度目	2年度目	目標年度(3年度目)		
目 必 標 須	付加価値額の拡大	1	1	1	100.0
		1			
選 択 目 標	① 経営面積の拡大	0	1	1	-
		0			
	② 農産物の価値向上				
	③ 農業経営の複合化				
	④ 農業経営の法人化				
⑤ 輸出の取組					

目標達成状況の上段は目標を設定している経営体の数、下段は目標を達成した経営体の数。(目標の達成以降は数値入力なし)

II 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

「付加価値額の拡大」について1年度目の計画値を達成したので、今後も引き続き目標値を達成できるよう指導していく。
